

湯田学区まちづくり推進委員会

委員長 船田 皎

（問合せ先） 084-963-1368（湯田交流館）

事業内容

（１） ふれあい事業

- ① 夏まつり（８月３日）
- ② 世代間交流［かななべかるた、七夕飾り作り、へびじゃんけんなど］（６月～１月）
- ③ 文化祭（１１月９日～１０日）
- ④ ふれあいグラウンドゴルフ大会（１月２６日）

（２） 地域安全

- ① 登下校の見守り（通年）
- ② 学区内巡回パトロール（通年（６０回））
- ③ 自主防災［避難所早期開設訓練、防災施設視察研修会、自主防災訓練（防災講演会）］
（５月２６日、９月１４日、１１月２４日）



（３） 地域福祉

- ① お年寄りへの弁当作り（５月～３月）
- ② 幼児の育成支援［人形劇、物品支援］（１２月９日、１月２３日、通年）

（４） 生涯学習推進

- ① 夏休み子ども体験教室［藍染、よさこい、科学工作、料理、陶芸、郵便局見学］（夏休み）
- ② 講演・講習会［よさこい、ポスチャーウォーキング、料理教室］（９月～１１月、９月２６日、１２月２日）

（５） 環境衛生［ラジオ体操会、リサイクル施設見学、さわやかウォーキング、地域清掃など］

（６月２日、７月２８日、９月２９日、３月２日、通年）

（６） コミュニティ育成［環境整備、清掃など］（通年）

（７） 広報事業

- ① 広報紙発行（年１回）
- ② デジタル化推進事業［ホームページとオープンチャットの更新］（通年）

（８） 運営事業（通年）



成果

- ・まちづくり推進委員会の事務局体制の整備 ・自主防災組織の活動活性化と学区民の防災意識の向上
- ・「世界バラ会議」に向け、廉塾バラの栽培促進と地域への啓発
- ・デジタルを活用したアンケートの実施と集約による、まちづくり事業への課題の明確化

課題

- ・各団体の活動を明確化した組織運営 ・湯田の歴史、伝統に基づく文化事業への取組
- ・電子回覧板の導入へ向けたデジタル化の更なる推進

課題解決にむけて

- ・まちづくり推進委員会の組織再編による活動の活発化 ・大学等の外部講師を招き、文化事業を推進
- ・湯田学区オープンチャットの登録促進

安心・安全のまち“ゆだ”をめざして

第3次まちづくり推進計画

期間：2023年度～2026年度（4年間）

2023年度～

問題解決にむけて

まちづくりの原点にもどり、
意思疎通（報告・連絡・相談）を図り
目的の推進にトライ

目的

安心・安全の“まち「ゆだ」”をつくり（育成）・つなぎ（継続）
続ける（持続可能）まちづくり

トライ

湯田学区まちづくり構成組織と事業の再構築

イベント型事業（現状）に課題対応型事業を含めた、湯田学区のまちづくり（地域おこし）

1. まちづくり構成組織の事業再構築

- (1) 部門（グループ編成）による検討
- (2) まちづくり中核組織「町内会」の活性化
- (3) まちづくり構成組織規則集WG発足
- (4) 研修会、講習会

2. まちづくりの新しい事業研究

- (1) 地域文化について（大学等との連携）
- (2) 環境・美化整備について

～まちづくり事業の再構築と共有にトライ～

（1）組織

- ・ 課題解決をする組織を、まちづくり推進委員会内へ設置
- ・ 単位自治会の活動の活性化
- ・ 単独では取り組めない課題を解決するための団体の統合・再編

（2）事業・活動

- ・ 課題解決型の事業・活動への転換
- ・ 地域の支え合いを促進する事業・活動
- ・ 地域の宝である「廉塾バラ」の歴史を学び、普及を促進する
- ・ 湯田の歴史や伝統を学ぶための文化講座を開催し、組織づくりに取り組む

（3）デジタル化推進課題に向けた取組

- ・ オープンチャットで発信する情報を魅力ある内容に工夫
- ・ オープンチャットの登録者アップ→ホームページの閲覧数アップ→掲載情報の質アップ
- ・ 電子回覧板の導入に向け、試行運用の取組

（4）自主防災組織の活性化

- ・ 防災意識を高めるための啓発活動



学区 デジタル化推進活動

ホームページ



オープンチャット



ぜひ
登録してね！



湯田のまちづくり活動に関する情報をお届けし、住みよいまちづくりをめざすため、ホームページとオープンチャットを開設し、まちづくりに関する催し案内・学区の多くの人に知って欲しい情報など、月に数回程度発信しています。ぜひご活用ください。